

熊本・天草紀行(その3) 天草の客船

2020.12 池田良穂

天草の旅客船は、熊本本土とは橋で結ばれており航路数は減ったものの、右図のように今でも結構な航路があり、はたして2日間で全船が撮影できるか不安でしたが、各航路の時刻表と首っ引きで撮影ポイントと時間を計画しました。

さて、島原の宿で1泊して、翌朝、フェリーで天草に入りました。島原半島の南端の口之津から、天草の鬼池まで島鉄フェリーの船で、30分で渡れます。乗船した「フェリーあまくさII」は、新しい初対面の船でした。この航路には、僚船「フェリーくちのつ」が就航しており、ちょうど航路の中央付近で反航しました。



九州旅客船連合会 HP

天草の鬼池の港には、天草四郎の像が立っていました。「フェリーあまくさII」の出港を見送ってから、下島の周りを反時計回りに回って、富岡港で長崎の茂木とを結ぶ苓北観光汽船の高速旅客船の入港、牛深港で鹿児島県の蔵之元とを結ぶ三和フェリーのカーフェリー「第二天長丸」の入出港、中田港では獅子島・長島航路の天長フェリーの「フェリーロザリオ」の入港を見てから、本渡のホテルに入りました。このホテルは、本渡港の近くの丘の上に立つ温泉施設も併設の大きなリゾートホテルでした。ここで2泊して天草周遊の拠点としました。

翌朝、本渡港に出入港する船を撮影のため、橋を渡って上島に移動して、天草下島と上島との間の狭い本渡瀬戸沿いで撮影した後、御所浦島等の周辺離島航路船の拠点となっている棚底港に移動して、入出港する船を3時間ほどウォッチ。その後、大矢野島の江樋戸港に移動して湯島航路の高速船「ニュー菊盛」の出港を撮影しました。三角と本渡を結ぶシークルーズの高速船は12~2月まで休航とのことでしたので、これで獅子島~水俣航路船を除く全船の姿をカメラに収めることができました。

最終日は、本渡のホテルを朝早く出て、天草五橋を渡って九州本土の西岸を南下して水俣港までドライブして、10時40分の獅子島汽船の高速旅客船「ししじま丸」の入港を捉えることができました。

口之津港～鬼池港



島原半島南端の口之津港の浮棧橋。2つのポンツーンに分かれていました。



港の一面にイルカウォッチング等に就航する観光船が停泊していました。



国立口之津海上技術学校の練習船「口洋丸」です。



島鉄フェリーの「フェリーくちのつ」と反航しました。



鬼池港を出港する「フェリーあまくさⅡ」の姿です。船首のランプウェイが右舷側に寄った形となっています。

富岡港



富岡港の客船ターミナルの建物で、観光案内所も併設されていました。



長崎の茂木との間に就航する苓北観光汽船の高速旅客船「きずな」です。1日4便の運航で、航海時間は45分です。

牛深港



天草下島の南端に位置する牛深港のフェリーターミナルは、道の駅との併設でした。ここからは鹿児島県の蔵之元に三和フェリーのカーフェリー「第二天長丸」が就航しています。1日10航海、航海時間は40分です。

中田港



中田港は、海岸沿いの道路に面したフェリー棧橋だけの小さな港でした。棧橋の前に数軒の建物があり、その1つが天長フェリーの待合室でした。



「フェリーロザリオ」で、天草下島と獅子島を經由して諸浦島とを結んでいます。両島ともに鹿児島県に属しており、諸浦島は長島と橋で結ばれており、会社のパンフレットには、鹿児島と長崎を結ぶ最短ルートとの記述がありました。船は、元瀬戸内海汽船のフェリーです。

本渡瀬戸



天草下島と上島の間の本渡瀬戸はたいへん狭い海峡で、三角から御所浦島経由や、御所浦島からの高速船が通過して本渡港に入ります。



本渡港にあった地図で、「現在地」の表示が本渡港。天草下島と天草上島の間が本渡瀬戸で、狭いところは川のようなでした。



本渡瀬戸を通過する高速旅客船「しいがる3」。



本渡瀬戸を通過する「第8栄久丸」。



天草下島と上島を繋ぐ橋のたもとに船が陸揚げされており、カフェ等に使われていたようですが、営業しているようには見えませんでした。この船の由来を調べてみましたがわかりませんでした。どなたかご教示ください。

棚底港



天草上島の南部にある港で、周辺離島への航路の基点となっています。



「フェリーごしょうら」の入港シーンです。



ポンツーンに着岸して荷役中の「フェリーごしょうら」です。



定期船「しいがる3」です。



定期船「スーパーイーグル」です。



定期船「八りゆう丸」です。

この水域には、上掲の 4 隻の船と、「第八栄久丸」の計 5 隻が定期航路に就航しています。



大矢野島の江樋戸港と、沖合の湯島を結ぶ「ニュー菊盛」です。



海上タクシー「翔」



海上タクシー「はまちゃん」

棚底の港にいた 3 時間の間、海上タクシーが何度も入港してきました。

水俣港



「しじま丸」の入港です。天草下島の南に浮かぶ獅子島は、天草下島とは「フェリーロザリオ」で結ばれ、九州本土の水俣とは高速旅客船「しじま丸」で結ばれています。冬季は 1 日 3 便の運航のようでした。到着した「しじま丸」から降り立ったのは 3 人だけでした。

江樋戸港

